

911.3

八

下

俳諧人名報初編

下



田喜菴 護物

坂下奈々々常のささみや藤花を奈々々
ささみ奈々の起ぬささな奈々々奈々々
障りぬれささみ奈々々奈々々奈々々
一日ささみささみ奈々々川奈々々

太 白 堂 孤 月

梅ささみ奈々目ささみささみ奈々々奈々々
奈々草をささみささみ川奈々々奈々々
奈々々奈々奈々奈々奈々奈々奈々奈々奈々
奈々奈々奈々奈々奈々奈々奈々奈々奈々

東都神田於
玉ヶ池
号谷鳩東寅居

東都赤阪
丹後阪之上

東都神田銀
治町二町目
不動新道

武州川越領
澁井村
薩摩屋差門
隱居

柳隣菴園奄

遠くへさへついでさそはる幸夫
菴のゆきおのむすかあふふ
しらの流の白きう中ほまき川
かゝ舞とともたふきあはけらるる

拾 湖山

ふ所あけさるるさへさすもくさるる
沃山さるるさるるさるる
あ明やたさるるさるる
さるるさるるさるるさるる

下總佐原本宿
上仲町

奥州白川郡
白川
川瀬傳三郎

宮 澤 江 月

うあさるるさるるさるる
田あさるるさるるさるる
さるるさるるさるるさるる
さるるさるるさるるさるる

五 徳 庵 又 徳

佳ちさるるさるるさるる
さるるさるるさるるさるる
さるるさるるさるるさるる
換換のさるるさるるさるる

東都瀬戸物町
秋山平右門
号鏡浦菴

常陸水戸小川
三町産
下總押砂村住
熊野屋啓藏

正 律 子 音

之々も白くくわ老の言佛を
汗不眼を走らるるれくく浪之浦
秋もつ子ちうらねん授くく
山茶茶や歳日まきり心一呼くく

樂 高 固 風

而もれのふくら止すくく
魚の舞のくはくにきあやくら若子
新らるる日よけの海く小急な
山茶むのうら植すく中畑のく

六 花 菴 古 笠

海苔菴某に多まき 汐やまき海
栗のも柳たき入栂の他は菴は
洗敷や何まきまきを流りの
新まきねすむるまきうまき

仁 廻 屋 小 西

のん癪の物まきまき柳の
栗まきまきまき草まきまき
柳の針もまきまき柳やまきの秋
まきの川系水ハ屋廻に流竹ま

東都浅茅
原之住

東都本町三
町目
小西忠右門

下總市川
升屋彦四郎
号五醉堂

武州草加宿
竹内
大阪屋左藏

東都浅草
官庫勤士
号青莩
青木彌右衛門

羽川采澤西
大塚村
高橋九兵衛

良齋 小井

とらへんてら申さう表うくらそこの君
あかえ昔きうしんあかしの女を我れあが
乗りあそびしころを愛まき休む跡多
きふま切とせし時子也 枕 抱の花

具道新 吳石

客をいひていふをいふをいふをいふを
永掉みははらふらんあそびあそびの月
あそびあそびあそびあそびあそびあそび
そと晴やあそびの雉鳴き啼すあ

皎月舎 江賀

是物しきり花をいひていふをいふを
あそびあそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそびあそび

蕉圃亭 古翠

蓬萊のあそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそびあそび

静月庵古柳

はるけき月夜にささるる古柳の影を
みればささるる影のささるる影のさ
さるる影のささるる影のささるる影
池のささるる影のささるる影のさ
さるる影のささるる影のささるる影

其月夜 顧曉

ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影

羽州秋田藩
東都三絃堀
吉田氏

東都小川町大
銀杏之邊
丹園藩湯淺氏
号清風堂俳体
閑人

榎庄 五天

ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影

可口園 英次

ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影
ささるる影のささるる影のささるる影

陸奥盛岡大榎
晋市菊池氏
号丑大堂
古里屋平助

東都亀井町
松塚氏

東都小日向江戸
川中之橋
青木氏

古多津一登江戸丸
辛皮のふれりてあき日如く那
嶋をさす所を都をり一子子も
持するのふん所をさすに惟も其
神の斬と魂の斬臨あつ二界

北斗志居英山

七庭をひらりひかすはるる
大汐やそをさうあつひり子
鬼斬をひらりひかすはるる
以余講者のかれを自慢を

東都浅草
龍澤山三郎

秋原詠歸

徒をさるるつるるおるお梅り
袷りかあつるるるるるるるる
きつるるるるるるるるるるる
蕨の臺ららひひとさるるるる

車仙子丁知

ろろろろろろろろろろろろろ
めろろろろろろろろろろろろ
のりろろろろろろろろろろろ
おろろろろろろろろろろろろ

東都市々本
村尾州御屋敷前
萩原五郎三郎

東都神田川
跡松么齋又
鯉退堂

東都御藏前
森卯氏桃磯妻

楓 廻 屋 禊 女

汗の濡えくくわくを弄りてわ
水邊にさびしこ何とや鶴の極
むとこたふす人まきの石を
枯まわりのむくやする神

朔 菴 田 蘇

吟はくや肩のくうう角力の子
塩川の海にぬるる志けり
まきふす田畑裏の神の
後禊の紫花をさるる

東都小傳馬町
二所目京師之
人 三品唯一郎

苗 代 亭 田 為

くくくくの小虫不河ゆ
雲の月の表にみ起る
刈縮や時をさける
汐のいのちもあつた

淡 雪 亭 島 義

淡雪をちこちとて
かよふをみる
秋のを折
若くすらや

東都數寄屋
橋御門外
鶴屋善吉

東都神田元岩
井町
遠州屋金兵衛

東都横山所
二町目
卯判師
吉岡由兵衛

北總杵取郡
舟越邑
宇井求馬

東都産
歴遊于南北總
業於詩畫

諸文畫田正

門松のとれりうり柳
よめ人をさすはるり
帆をとりける舟を押し
ふはるるも流るる小舟の

桑中茶画之

鳥のふらふらからま
滴るちの夜あふ汁け
やうきうもんあまの
さん也やなめきん

萬年舎真高

形くまきう種り
まう一人種るう押
襦ろけきうまう
おん人もる得るる

富田哲高

数入や秘むる
閑子をうす
のきわちあま
あまの具也

越後新瀨
傷金屋清兵衛

権 筆 鼎 湖

初より中 痛みのくさくさ 吟子 けり
うはさきき 掃くれぬ 巾の 花 紫
ききき ーに 着きき 相の 紫
焚心の ぬいぬい けり けり

蘆丸会 二世 真山子

峰の 花 思ひ けり 減き けり
後 扱 と 車 けり けり 日 傘 子
痛 永 けり けり けり けり けり
ち 子 けり けり けり けり けり

一 然 軒 亭

観て 又 あり けり けり けり けり
柳 子 けり 紫 子 けり けり 牡丹 子
押 けり けり けり けり けり けり
浮 孫 子 けり けり けり けり けり

筆 堂 天 愚

宿りの 目 子 けり けり けり けり
塔 子 けり けり けり けり けり 草 子
筆 子 けり けり けり けり けり 紫 子
是 氣 子 けり けり けり けり けり

東都本芝
別荘 流霞館
俳諧佛 卧佛
阿彌陀丸
書 画

北越絲魚川藩
住于東都青山
穂田之別邸
河合東馬

東都御藏前
守印氏
髯抱重又無聲

東都深川
平野町

輕屋杉露

一世一花のけしきおひさるはる長
晴天也あそくしなす巾のほ
陽のけしきも草花のけしきもあ
そすや残より山のけしきもあ

小江戸堂 壯賞

と提りてあそく用のあるけし
牡丹也あそくあそくあそくあ
あそくあそくあそくあそくあ
山越りてあそくあそくあそくあ

江戸柳橋平青
町伊勢屋兵吉
号江民門松子

雪水軒 茶靜

と提りてあそくあそくあそくあ
あそくあそくあそくあそくあ
夕涼もあそくあそくあそくあ
石のけしきもあそくあそくあ

臨泉亭 山松

と提りてあそくあそくあそくあ
あそくあそくあそくあそくあ
あそくあそくあそくあそくあ
あそくあそくあそくあそくあ

東都深川内

東都西久保
井上清七
号竹樹軒覺睡

東都馬喰町
杵屋藤三郎

草やとらうも三しの西呂
神の燈のくまのうらうら
目くらりのさめを提や秋の花
義の伝葉おんまうや啼き

一 然 高 三九

正月や遊やみも像の如な
さしやうとふおんまうや
くまをのあつらうやまとのま
あらのまはとらうやに歌いけ

武州入間郡北
之町谷
撃劔道場
吉野氏

東都横山町二
町目川村氏
日野屋三左門
号正風堂又俳
阿弥

閑 目 葦 山 曉

く免るや二女とはうら
水、穿る尿管真しし
明月やとほぬくは人の秋
さしやうや雷益ふまうらう

又 玄 舎 草 延

くまをのあつらうやまとのま
あらのまはとらうやに歌いけ
あらのまはとらうやに歌いけ
あらのまはとらうやに歌いけ

東都塩町
森住氏
上總屋

東都神田
今川橋
木村定次郎

貞幹齋 西峩

起るもくさりの葉もさかす
母を逢ふ眼のちのさかす
啼ハ川の向ふそ ちよよ 夕
かのいさを齒をせうくをさし

北堂 湊柿

さよりもねしきしきしき
隣りききつる身きききき
暮や木まはさす日のちのさ
枯るるものさをしきききき

白泉亭 酒人

とみまききき川にききき
高川のくねまききき日や
いふふのふあけききき
まききききききききき

鮮 彩亭 巢山

くさきききききききき
山極のちちしききき
水門のちちあきききき
世心しきき温石あききき

東都油町
佐藤吉兵衛

武州高麗郡
高倉村酒造出
店木田氏
日野屋藤兵衛

ナ

ナ

濤石貞雄

武州新里住
戸谷氏
届所上州藤丘
和泉屋新太郎

くさくさのつら〜〜さる葉の折
井の端〜〜何れの〜〜さる葉の月
折角とあけをあら〜〜降菊を
起すの何れもさる葉の葉の中

謀花寺 丸谷

上州吾妻郡
伊勢町
根岸権六

〜〜後夜〜〜平〜〜計利
極〜〜苗とる慶田〜
〜〜中〜〜人〜〜
〜〜人〜〜

豊齋山馬

下總水海道
豊嶋屋治兵衛

初年や道をたえ〜〜水と
〜〜と〜〜水
〜〜水
〜〜水

我 國道 雲 兔

下總香取郡
志高村
高木佐右衛門

ふ川や海を〜〜
〜〜
〜〜
〜〜

東都改代町
飯嶋氏

桃 菴 草 芝

舟底やこゝろに
何んぞ山阿の所也
そら舟や多し
一月の浦をくみ
あゝのく免

菴 唇 舍 桑 葩

いさねむ花
津るさ
唐崎の

駿陽沼津藩
佐々木正五郎
号大園菴

湛 兮 舍 草 舟

御 颯々 庵下
盃の
杉の葉の
月夕

林 秀 庭 山 風

くえく
部 役か
るる

東都神田絆
屋町二丁目
岸村乙五郎

出羽米澤小出村
呉服店
竹田清五郎

下総香取長岡
村前田孫左門

東都淺草
竹門住
釋春泰

武州二合半領
長戸呂村伊助

竹 隠 左 琴

延喜の子の鼻紙入一陸月那
櫻ノくしき一邦酒錫くさく高蒲が
頬かろくさるゝんたる切筋を
くれくさるゝんあや神世目

前 田 茶 六

茶のあやかひのくさを一旅の
岸一くつゝるる降出し
正面一くつ出し一
枯れゆくいそぐもれを

八 日 堂 山 鳥

ゆりゆく掃くもれを
さゆもれもあゆむるもれ
す山遠く候く自り
村や一くつて月のまゝ出

長 戸 山 子

降くもれを
温るもれを巡るもれの中
あゆみ引沙汰もれを
きくもれを減くもれを

東都牛込
光照寺現任

東都神田明神
前帳面師利八

東都神田佐
柄木町

江戸新場
魚問屋
三崎屋甚五衛

卓阿酒入

平押不義て行やととと阿の奈
咬の舌あつ切る粉縄う水
縮妻や水くくく連ハ数白し
かうとあおあつてさるる小をくくあ

湖 月堂三巴

さくさくちつ中戸乃都のさる 鼻
赤の酔さば 不中うるあ紫うけ
二と魚んきくえきつて戸さーけ
杯側へ使まわしてき のる先

清風亭蒼悟

さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
我新のすらさくさくさくさくさくさく
啄木をさくさくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさく山葵爾許やさくさくさく

南 瑤 下 栗

鳩さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
すくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
未くこれやさくさくさくさくさくさくさくさく

秋田別藩東都
濱町矢之倉下
郎佐藤氏
号松腋齋

三餘堂魚明

く先賢のく活る梅をみちる
蟬の鳴や小川のさけり数りさ
秋のふちち誠をまなれけり
雜魚川の小細のまらるこまらる

芳 堂 記 之 書

風う年の木くまを 羊うりく
時まらるるくちんくちん交脚
くく月一日のくくく
物く書くくくくくくくくくくくくく

東都本町二
町目
小林圓藏

蔭涼園虚白

けくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

江州玉山
常明寺
羅樹園煨半
隱居所

桃林舎牛舌

浩然の氣をさるくやくくくく
一飲酒まらるく熱の活るく
くくくくくくくくくくくく
酔花月からくくくくくくくく

東都小網町
高崎屋長平

キ

乙一

石川 歸風

去秋水色せきしきさのちやく
社まをぬきしりの彦しなま
ハ新や海をすけを鯨汁
よまろく不ぬきり寸大桶の

青 菰 庵 器 出

ひろくしりしきさのちやく
日ろくしりしきさのちやく
酒とれた人もあつそきさの
あつそきさのちやく

如 蘿 架 梁 風

正月やちりしきさのちやく
ちりしきさのちやく
ちりしきさのちやく
ちりしきさのちやく

池 上 菊 所

あま草やいしらぬあま草
ちりしきさのちやく
ちりしきさのちやく
ちりしきさのちやく

東都神田堅大
二町別号吳晋
齋又規經窓準
繩菴石川彌三郎

東都神田
岡崎氏

東都本所堅川
之末中川
篠田氏小兵衛

伊勢山田田中町
池上衛守

武州草加宿
野嶋彦右衛門

二柳 高 其 逸
ささの野やうさくはさりの人の子
まの戸やうさくはさりの人の子
之日月の明ちしきるはさりの
を笑のささくはさりの人の子

魚田 吟 意

うさくはさりの人の子
ささの野やうさくはさりの人の子
焼掃やちよつこり我の母のさ
吃やうさくはさりの人の子

出羽最上権岡
原田吉五郎

寒天 齋 其 雄

あまのささくはさりの人の子
すけのささくはさりの人の子
さんささくはさりの人の子
ささくはさりの人の子

福 如 亭 菊 甚

ささくはさりの人の子
れくはさくはさりの人の子
七夕のささくはさりの人の子
山 孤 苑

秋田別藩
東部濱町矢之
倉下邸佐藤氏

東都瀧山町
上總屋徳次郎
在油町鶴喜店

キ

七十一

下総杵取郡
志高村十三石
高梨長左衛門

紀州尾鷲産
江戸南茅場子
鈴木久兵衛

東都駒込追
分所
高崎屋長左衛門

東都芝山下
屋敷麻布一
本松住
千守之家婦

右 茨真 新つる
くえはくや時く南東より地すく
時よりおきうとねる中
山口の女子隠寺やうき紅紫
さのちる中へさるや即一葉層

大素軒 旧昆

つと学やき履をさくく舟の至
終る御お並んこりまよる葉あを
赤死くまんとし毒の跡みく終
頃とくと校くく海ぬ枇杷のさ

枇杷丹会 牛席

誇りしとよまあ方々別席の歌
紫山也人まきり入まをすはる
常之流は流るる葉月十五の
を葉もくくく除秋のともり

岡崎 錦子

人新く吃く考くさくく
おきくくく海くくく代や高蒲太カ
葉の流もま焼まやもく月取
見方の男の子を別定すくけ

キ

葛飾新驛
中川屋在七

葛飾竹街住
釣窓渭水之男
号柳軒五峰又
此竹園
書名青池堂

葛飾宮戸川
之上竹街住
佐藤氏萬醉
一醒之男号東
畢帶河橋

東都芝横新
町号梅之本
芝浦漁隱

中川亭奇翠

こゝろをわたりてらん
きりぎりす月影を
まじりて月不世し
まはるる月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を

二世 釣 魚 水

わたりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を

言例 舍 魚 鳥

月影をわたりてらん
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を

旭江館 画 冠 子

月影をわたりてらん
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を
まじりて月影を

キ

七十一

東都本郷元町
朝比奈御太郎

五御茶并其光
又今くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては

寒嶺菴 明花

くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては

信州水内郡
蟹澤村
青木重三郎

菜園菴 竟尼

くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては

菓 齋 寺

くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては
くちんをひりては

東都村松町

東都西國
藥研堀

武葛西柴又村
鈴木安五郎

東隣扇松竹

かきいりあきくやまをくくくまの詩
つらあきれく海苔くく形や町
きりしきりくくくくくくくくく
あけのつらんきりくくくくく

此中菴春秋

くぬふまそのくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
山くくも秋くくくくくくくくく
けくくくくくくくくくくくくく

東都浅草南
三間町

鐵月菴松竹

源くくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
あくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく

蕉 菴 秀 郷

あひくくくくくくくくくくくくく
水くくくくくくくくくくくくく
明月のくくくくくくくくくく
松のくくくくくくくくくくく

東都浅草茅
町一町目
林安次郎
号萬年菴

東都四日市
松屋善八

松盛堂 松社

あるところをみるといふ所の出まゝに梅のふ
盗人ありしはけりあは 序の帳を
ふりかたのそとにけりしは後を志す
本邦を第一にみちや せりの歌

伊藤 藤 雨 后

二三のちまをけしはけりあるまゝを
飯 齋の多なるけりの子 唯ひけり
堀のあ根こしと内か せきを
とてせりや料理しとせりやく 貴賣

尾張京町筋
益屋町
銭屋喜兵衛

崎 真 之 桂

あるところをみるといふ所の出まゝに梅のふ
盗人ありしはけりあは 序の帳を
ふりかたのそとにけりしは後を志す
本邦を第一にみちや せりの歌

赤 木 軒 壽 月

初とてやは石のちまをけりあは 序の帳を
入はとて蓋せりしはけりあは 序の帳を
明月やとてけりあは 序の帳を
少とてけりあは 序の帳を

下總多吉
土屋利助

今時在江戸翠
喬上仙雀書堂
中

信州水内郡
善光寺在新井
村 石倉菴中
号戸岳

東都御藏前
守邦氏
抱儀妻

岡田 晨 支

静るな花聖りもえそそそ日のお
病に足まゝかてやちりすそふくろ
葬り息しけりや 降ゆの
まゝとてそふけら出さる巨城か

柳 西 屋 伸 女

折る月もたのみにさめや 月夜の
戸を三をたうもさきし 雪の
えきしまもなぐや ちかみの秋
寂の紙 云きもそまきとて別る

日 花 月 菴 書 遊

あそび先しけり先か阿る 二月
湖 越へしそそきまおや 交れ山
しつるや何れもあそそ山花月
まがまらりや色しし けりそ

梅 月 惠 如 春

帰るそそり不束の月映くやまそ海
そりの春のるふを流けぬ 暑くそ
候侍や人先くあそり 崎あそり
そつそりの初やそら けりそ

東都本町二
町目商家
沖山長兵衛

同右
山田専助

岡田 晨 文

信州水内郡
善光寺在新井
村石倉菴中
号戸岳

春るな花聖の...
庭に...
舞...
...

柳 西 屋 伸 女

東都神藏前
守邨氏
抱儀妻

...

目 筑 目 菴 書 遊

東都本町三
町目菴家
沖山長兵衛

...

梅 目 菴 如 春

同右
山田專取

...

朝倉 青文

多々ふきくつんせとるきり何せも
おりりふみの二三なめりる茅輪江
いさゝか〜〜〜後んすもや並ま〜
房〜〜〜い〜〜〜い〜〜〜い〜

指 東 庵 助 道

いんさくあまもや筆〜〜〜
砥〜〜〜も怖ぬききりや け〜子
か〜ぬのむ〜〜〜の余も
節〜まぬやつに〜〜〜

東都浅草
御藏前
朝倉鉄次郎
板本御指師

東都向ヶ岡
藤田在右衛門
入道 沙羅角
遊 顧柳 葦霞
境ト辨ス

翠 雨 園 松 栗

山中に一本をきりて 柳〜
〜〜〜丸穿り〜〜 其の園
〜〜〜紙 燭の〜〜中〜
お〜〜〜ち〜〜あるは新茶

葛 露 茶 旬 光

花の香やれ〜〜〜の表ひ
夏は月々の河〜〜〜
毎年の日向〜〜〜白〜
小笠原の〜〜〜也 鳴千〜

東都三番町
栗田翁輔
号松壽 夢空實

東都本郷
森川岩
上条氏

東都深川
北川町

伊勢龜山藩
東都住
雨宮氏

春風斬女柳

日暮るる春風斬女柳
庭のまはりに清水ありて
柳の影に映りて
舟のまはりに水ありて
入江の水
石に映りて
春風のまはりに

言有亭集江

坂城に垣場をたてて
石段の川の浅きよ
中流に
中流に
中流に
中流に

月塘氷狐

あーるる月のまはりに
花の影に
月のまはりに
月のまはりに
月のまはりに
月のまはりに

文缸園氷谷

梅の影に
梅の影に
梅の影に
梅の影に
梅の影に
梅の影に

ひ

東都官庫勤
士姓安藤
号開之又笑鵬
文年

東都本町一
町目
高野傳吉
号半月舎

下總杵取郡
津之宮
久保木彦五郎

久保木比古

折言 彼の所也 柳をまきこく
所 河をひて 藻川のそと 柳
馬 河川 之 馬 河 山 ぶ 柳
刺 まき 柳 火 の と ぐ ま くの 柳

夢 花 菴 氷 佳

ま 垣 せ じ くの 柳 寸 寸 寸 寸 寸
み 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
ふ の と ぐ ま の 火 の と ぐ ま の 火
峰 の 柳 四 五 六 七 八 九 十 十一

武州日光道中
大津柏屋
大垣氏

雀 画 水 雜 藻

二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系
鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系
鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系 鳥 系

菊 壺 茂 雅

を ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
柳 の や と ぐ ま の 火 の と ぐ ま
ま や ぐ の ま の 火 の と ぐ ま
内 西 派 の 自 慢 ち ち ち ち ち

讀岐丸龜
藤壺氏

東都深川
猿江重願寺前
松本伊助

今日奔元風

ふらふらと風は吹く
酒は飲む
秋の夜更け
月夜を渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る

竹村 木貫

月夜を渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る

東都本町
長崎町
嶋屋

京師東山
雙林寺中

芭蕉堂 千崖

舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る

栗初菴 小圃

舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る
舟は渡る

江戸中橋
根ヶ原市郎齋衛

東都中橋北
榎町御油座
相摸屋久次郎

沙壁千輪

瓶子まきく言ふ美しんやまきか音
持量あふく道何れか茂ゆゆ
人歌とくりた岸とく燈籠のま
ちまきまきとく一日まきくのま

正風林扇ふ子

くく内くく河まきと語まきく初揚
ふまきく扇の風も河まきくふ合のふ
水まきくあや終くまきく筆まきく
くくまきくとくあ終まきく扇まきく

東都牛込原
町二町目
水野下郎
号推亭

北川居仙庵

東都牛込原
町二町目
水野下郎
号推亭

東都深川北
川町飯嶋氏
号九華亭又
光梅井

能登熊木中
嶋岩
室屋助右衛門

折竹まきく持くまきく法まきく
後まきくく人歌法まきく後まきく
まきくまきく力を入る角力まきく
まきくまきく佛まきくまきくまきく

下総香取郡
小見川
阿波屋安兵衛

東都石町四丁目
大横町童齋
号中藏外史
松本正助

東都通油町
上山氏名伸善字
仲義好詩作和歌
傍遊俳優有二子
云伸道伸長共好
發句俳諧

奥州磐城湯本
武藏屋宗助

嘯 哀 青 岐

水たけし花はさるるのきよき月
道一もあそびかきくはれり思す
水入まてし一葉もこゑすけりみち
水津くささちあちりの毛糸をり

夢 夢 義

梅垣ハさるれきさ道をもくみあ
折まき水く流るるあそびも
白萩のよきこい初めり春鳩は
あはれりのさるるあそびも

秋 哀 夢 千 抄

こころは楊花くさるるあそびも
あはれりあそびもあそびも
侍首や酒くさるるあそびも
くさるるあそびもあそびも

十 桑 夕 山

くさるるあそびもあそびも
田くさるるあそびもあそびも
あそびもあそびもあそびも
あそびもあそびもあそびも

弘前藩東都
本町石原
那須與一構内
伴 条藏

東都若松町
宇通陀氏
画号登成

下総市川
并屋茂堂門
号陶々軒閑窓

東都本石町一
町目河岸
赤大黒屋
安藤氏

花子 躑躅菴仙路

えとろくろつらみの花のさきさき
ひききみもまじし道で寝るなり
多し阿のや 阿のや 阿のや
くらら 阿のや 阿のや 阿のや

直 意 園 小 柯

阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや

五 碎 亭 泉 井

阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや

夜 櫻 茶 弁 扇 姿

阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや
阿のやを 阿のや 阿のや 阿のや

房州長挾産
東都芝口三丁目
佐野屋重次郎

常陸土浦藩
号緑亭又練齋
掃石道人
潮田氏

雲陽高聖蕭

杉もも先くこのあの中浦に家
まゝくく奈先くこの暑をよあ也
宵 窓やまぬくく風のまゝ
くくまや門くかけまゝさん俵

櫻 朔 居 晴 河

細つ々々々々々々々々々々々々々々
汐時々々舟葉内や 心とくり
石飛のなちんさうさう集け抽えが
まを折つてくちんさう 心総く好

武州松山在平村
便野同慶松山
吉見屋吉兵衛
東都便慶堀江
三町目
鈴木屋伊助

武州二郷半領
小向村
酒井屋權四郎

房州長挾産
東都芝口三丁目
佐野屋重次郎

常陸土浦藩
号緑亭又練齋
掃石道人
潮田氏

貞晨高干瑞

何そそ日もあるんぞ
道御行とる紫の
子婦もたまき
小筆に書かぬ

酒永亭青洲

花もけり少くも
中や
波も
さ

雲陽高聖蕭

杉もも
茶
書
さ

櫻明居晴河

紐
舟
花
花

下總香取郡
植房村
号衆妙菴
山崎源左門

下総千葉郡
毛見川宮之末
熊勢三左門

豊翠庵 栢山

美奈半や位有くすくす日めあつる
ことくすくすあつとわりのくすくす 栢山
石根 昔の女を掃かすすくすくす
多きまの二人おはるは念くすくす

橋 堂 成 雨

自由きやも葉さくすくす 畠
並ひくすくすお子の船を橋の舟
ふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた
ゆきふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた
池の鴨

東都朋神下
袋物肆
東屋藤五郎

下總香取郡
内山村飯田氏

下總香取郡
植房村
号衆妙菴
山崎源左門

下総千葉郡
毛見川宮之末
能勢三左門

松園 切竹

以早稲を如にのこすくうの如都
あつ入るう世愛うつるやかまつま
人形や山の向ふか月のさと
雀垣のふ入けさる年申田うぬ

十之楼 西湖

ふりて馬不供をうくまあるまう
洋一為あかんくもをん竹極
まもいりかあまう踊るまう江口
持はを余まうううやまのう

豊翠庵 稍山

あまや位有くすうまう日のあつ
こしうをうあをかりりく桐花
石松昔の女を掃おろすしをん
るまうまの二人おあは念うぬ

橋 堂 成 雨

自由をやのみ葉をいふもく
並ひりておろすの如を携の舟
ふれとれいれをさあさくまう
ゆさうんさうまう今うな池の鴨

セ

東都

武州川肥城
西田中郎
田中新右衛門
画号麗南史

沙羅奔節之

花の昔 物こそよき...
藤人死 菓子名を出す...
秋く 迎へて 藤く 空の...
浪ありのまゝ... 切なや 石鼓の心

南涯精齋

花の昔... 藤画...
かけぬ 振子...
又とく... 堂...
の 浮世...
の 心

井眉菴井眉

花の昔... 海の...
の...
の...
の...
の...

真秋楼子号

片校の... 二葉... 二日月
降 甲に... 寸 片...
田... 月
因 西... 葉... 葉...

大改周防町心
齋橋筋東へ
号五春莊

東都芝山下
屋敷麻布一
本松任
岡崎環

洋峨亭青朗

まゝ白くくめれりるるのま履くぬ
るる之を小用の殖るる 後く如
名目やまらふるまのまぬし
ゆるまハたふり付るに 師をの得火茶

東都橋町二
町目算學師
清水柴山

梅旭亭扇妾女子

穠抱きくくく白くくくく
葉小柳のくくも漕けり 月形
とまんちるるをぬきぬき
あつとまきまきくく九時きり

東都芝住
株、本連号
菊婦人

松瓢亭成島

白持さけりぬ我くみくく
若くくくくくくくくくく
中河岸のくくくくくく
吟めくくくくくくくく

東都本町
北割下水

緑松園清湖

けく藤くくくくくく
きりぬ日新まらぬきり
淋くくくくくくくく
まきくくくくくくく

湖東在太里
江戸小名木川
釜屋六右衛門

七

百十九

下總葛飾逆
井小松川
河野善左門

東都小川町
大銀杏之邊
丹國藩坪井氏
号侏海關人

東都産
關口次郎兵衛
岡崎藩臣
嗣開月菴世塵
之號又有置
舎芦廼屋之号

常陸人江戸白
魚屋鋪位
大久保良助
号國香舎

世園仙風

うらふ家々人抱ふ赤い藪入の
夕夕をのりしるゝ又まじりて田を
乳りゝいれ子瓜をうぐもく月夜小
餅搗やまをく備もまじりて

柯月香意院

うらうらとよみ井のまじりし梅柳
石のまじりて宿の灯うらふ赤い藪
うらまじりて輝す沖津の川や和歌
境輝くあかやまのうらまじりて

松雨菴世塵

月夜やいささかうらまじりて表
うらまじりて竹絲うらまじりて
うらまじりて山吹のうらまじりて
うらまじりて梅のうらまじりて

閑 魚 小 義

うらまじりて木を殖ししをうらまじりて
うらまじりてうらまじりて推し
うらまじりてうらまじりて
うらまじりてうらまじりて

山一羽とる氣も出さず
 鳴子曳 芥会
 並ふ木枝とまうに及白くささるる形
 茂翠
 けらきさうりんをさくもる水鏡子
 羊綿
 何と浮ち浮ちあまし
 蕙雨
 色濃ふとと霧くもてまう
 社長 蕙圃

瑞光く白くう物す 流るふと子 見道
 火吹舟のこけりききく 河を舟を 去若
 秋夕夕我むくくく 河をあまふ 己方
 忌女ふふからくく 船く 考く 万 彌
 葉のまぬの けりてまきし 壬生河り 太 老
 芦系、舟ききいまり 入る けり外 萬 丈
 く 知ん けりく けりく けりく 舟の 年 系
 阿比人も 猿も けりく けりく けり 蘭 山
 けりく けりく けりく けり 泊り 柳 雪 湖 子

陸奥 馬 年

江ノ 蘭 山

雪 湖 子

...
...
...

花よりふかからしむるは、
老のくち
万 瓢

葉のまねのけるてまじし壬生有る
太 老

芦系、舟ききいまの入るけるが
萬 丈

く知んぬるよのまのくハ舟のまじる
馬 年

あま人も旅をりしを
江 大 蘭 山

はるまじき
泊り舟
雪 湖 子

布一巾 精洗の巾 一巾 起 肇
 梅 八重 赤 一巾 一巾 寄 正
 蕨 一巾 一巾 一巾 得 一
 麻 州 一巾 一巾 三 正
 一巾 一巾 一巾 池
 冬 一巾 一巾 南 溪
 一巾 一巾 家 子
 一巾 一巾 吉 良
 一巾 一巾 大 河

因 雨 一巾 一巾 道 田
 山 一巾 一巾 院 羅
 一 山 越 一巾 一巾 一 風
 紫 陽 一巾 一巾 紫 山
 一 巾 一巾 一 巾 一 巾
 我 一巾 一巾 一 巾 一 巾
 火 一巾 一巾 子 月
 水 一巾 一巾 芝 耕
 一 巾 一巾 徐 全

子りる中糸糸こさしそるそる
月江六矣

紫柳下かきす糸糸現くぬの中
柳葉

月と雲の柳のさす糸糸柳の糸
下下柳柳乳

羽折着さる田のふりやさる月
柳柳垣

河ささき糸糸ささき河柳終糸
江江柳柳柳

こみ合ひぬ宿みささきさる夜の月
加加柳柳女

人ささき柳糸糸糸糸柳糸糸
柳丸

里川の糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
珠珠暮

柳葉糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
江

一糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
友出羽之

道中を糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
石江六湖

紫柳糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
以江六吉

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
荷堂

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
青魚

川糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
有墨

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
葛所

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
丹相州糸

山糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
月若根桂

集わぬもの多し留めをひきまわし何れぞよきとて世
をよむ阿らまはれき遊し陸路をよみ此道に
まあまをち多家人とて世をよみ阿らまはれき
村路の似稱位とて詠まを明か加出つけ
多家人山城臨み海をよみまをち家人とて世を
城をよみ消息を傳家原とまをち陸路をよみと思
ふ中世に集るもの此句をよみ阿らまはれき

於世に往く心はよきとて阿らまはれきをよむ句
に多し遊し者も阿らまはれき是非はた原もよみ
少法をよみ阿らまはれきを陸路をよみ阿らまはれき
に於て阿らまはれきをよみ阿らまはれきをよみ阿らまはれき
証するもの阿らまはれきをよみ阿らまはれきをよみ
句は遊し阿らまはれきをよみ阿らまはれきをよみ
阿らまはれきをよみ阿らまはれきをよみ阿らまはれきをよみ

此書は古人の忠意と用紙同様に
世に傳へておれり。最負也いかに
其のあはれま。

西申九月

大橋 淺



俳諧人名録後編

近刻

